



## 2020年6月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年8月7日

上場会社名 株式会社ユーザーローカル 上場取引所 東  
 コード番号 3984 URL <https://www.userlocal.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 伊藤 将雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 管理部長 (氏名) 岩本 大輔 TEL 03(6435)2167  
 定時株主総会開催予定日 2020年9月24日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期の業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	1,667	25.0	687	29.7	658	24.2	419	29.1
2019年6月期	1,333	21.3	529	13.4	529	13.3	325	8.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	55.20	53.24	13.2	18.4	41.2
2019年6月期	44.10	42.11	14.2	20.4	39.7

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	4,419	3,938	89.1	507.10
2019年6月期	2,739	2,425	88.5	328.25

(参考) 自己資本 2020年6月期 3,938百万円 2019年6月期 2,425百万円

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	621	△23	989	4,034
2019年6月期	385	△92	△115	2,446

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年6月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

### 3. 2021年6月期の業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,923	15.3	769	12.0	769	16.9	500	19.2	64.42

(注) 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年6月期	7,826,100株	2019年6月期	7,444,900株
2020年6月期	59,982株	2019年6月期	56,854株
2020年6月期	7,606,664株	2019年6月期	7,377,914株

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について)

当社は、2020年8月28日（金）に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会をオンラインにて開催する予定です。この説明会の資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### 当期の経営成績

当事業年度におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景として緩やかな回復基調が続いていたものの、米中貿易摩擦による国内外経済の不確実性の高まりに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う金融市場の混乱や世界経済の減速等の影響が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社はデータクラウド事業において、当社のコアプロダクトである「User Insight」、 「Social Insight」、働き方改革を推進するソリューションである「サポートチャットボット」の機能強化及び、ディープラーニングを活用した人工知能ソリューションの開発を目的として、ビッグデータを処理する基幹システムの拡張・強化、アルゴリズムの開発・実装、ビッグデータを解析するデータサイエンティストの教育・育成に注力し、パフォーマンスのさらなる向上に努めてまいりました。

また、営業面においては人員数及び組織的な営業管理体制の両面で強化を行い、新規取引先の開拓等の事業展開に対する販売促進活動に注力してまいりました。

以上の取り組みが奏功し、当事業年度の実績は、売上高1,667,483千円（前期比25.0%増）、営業利益687,219千円（前期比29.7%増）、経常利益658,133千円（前期比24.2%増）、当期純利益419,871千円（前期比29.1%増）となりました。

なお、当社はデータクラウド事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当事業年度末の資産につきましては、前事業年度末に比べて1,679,810千円増加し、4,419,289千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加(前事業年度末比1,588,051千円の増加)、前払費用の増加(前事業年度末比29,265千円の増加)、長期前払費用の増加(前事業年度末比38,194千円の増加)によるものであります。

##### (負債)

当事業年度末の負債につきましては、前事業年度末に比べて166,799千円増加し、481,125千円となりました。これは主に、未払金の増加(前事業年度末比34,833千円の増加)、前受金の増加(前事業年度末比43,660千円の増加)、未払法人税等の増加(前事業年度末比61,610千円の増加)、未払消費税等の増加(前事業年度末比22,487千円の増加)によるものであります。

##### (純資産)

当事業年度末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて1,513,010千円増加し、3,938,164千円となりました。これは主に、資本金の増加(前事業年度末比554,527千円の増加)、資本剰余金の増加(前事業年度末比558,434千円の増加)、利益剰余金の増加(前事業年度末比419,871千円の増加)、自己株式の増加(前事業年度末比19,822千円の増加)によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末と比較し1,588,051千円増加し、4,034,243千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは621,629千円の収入（前年同期は385,387千円の収入）となりました。これは主に、税引前当期純利益658,133千円の計上、減価償却費29,734千円の計上、売上債権の増加22,136千円の計上、前受金の増加43,660千円、未払金の増加34,833千円、法人税等の支払いによる支出197,516千円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは23,064千円の支出（前年同期は92,022千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出18,428千円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、989,486千円の収入（前年同期は115,117千円の支出）となりました。これは、自己株式の取得による支出90,367千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入38,377千円、株式の発行による収入1,060,111千円、株式公開費用の支出18,634千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け、日本の経済は依然として先行き不透明な状況となっております。現時点における当社の事業活動への影響は限定的ですが、今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済活動への影響を注視するとともに、経営環境の変化に対応できる体制の構築を図ってまいります。

また、当社コアプロダクトである「User Insight」、「Social Insight」、働き方改革を推進するソリューションである「サポートチャットボット」の機能強化及び、ディープラーニングを活用した人工知能ソリューションの開発を目的として、ビッグデータを処理する基幹システムの拡張・強化、アルゴリズムの開発・実装、ビッグデータを解析するデータサイエンティストの教育・育成に注力し、パフォーマンスのさらなる向上に努めてまいります。

今後の見通しにつきましては、新製品の開発や新市場開拓等の先行投資を積極的に実施していく予定であります。このため、2021年6月期の業績見通しは、売上高1,923百万円、営業利益769百万円、経常利益769百万円、当期純利益500百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、株主構成及び国内の同業他社の動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当事業年度 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,446,192	4,034,243
売掛金	84,456	106,592
前払費用	42,291	71,556
貸倒引当金	△228	△803
流動資産合計	2,572,711	4,211,589
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	18,469	20,968
減価償却累計額	△10,765	△14,822
建物附属設備 (純額)	7,704	6,146
工具、器具及び備品	159,341	175,517
減価償却累計額	△114,467	△140,391
工具、器具及び備品 (純額)	44,873	35,126
有形固定資産合計	52,578	41,272
投資その他の資産		
差入保証金	32,251	28,967
保険積立金	35,648	40,284
繰延税金資産	23,859	36,549
長期前払費用	22,430	60,625
投資その他の資産合計	114,189	166,427
固定資産合計	166,767	207,699
資産合計	2,739,478	4,419,289

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当事業年度 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	35,044	69,878
未払法人税等	111,827	173,437
前受金	129,375	173,036
預り金	7,769	9,487
未払消費税等	24,089	46,577
その他	6,218	8,707
流動負債合計	314,325	481,125
負債合計	314,325	481,125
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	578,469	1,132,997
資本剰余金		
資本準備金	563,469	1,117,997
その他資本剰余金	—	3,906
資本剰余金合計	563,469	1,121,904
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,433,326	1,853,197
利益剰余金合計	1,433,326	1,853,197
自己株式	△150,112	△169,935
株主資本合計	2,425,153	3,938,164
純資産合計	2,425,153	3,938,164
負債純資産合計	2,739,478	4,419,289

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,333,571	1,667,483
売上原価	136,500	153,445
売上総利益	1,197,071	1,514,037
販売費及び一般管理費	667,215	826,818
営業利益	529,855	687,219
営業外収益		
受取利息	110	115
営業外収益合計	110	115
営業外費用		
株式交付費	—	10,567
株式公開費用	—	18,634
営業外費用合計	—	29,201
経常利益	529,966	658,133
特別損失		
投資有価証券評価損	29,549	—
特別損失合計	29,549	—
税引前当期純利益	500,416	658,133
法人税、住民税及び事業税	188,674	250,952
法人税等調整額	△13,596	△12,690
法人税等合計	175,078	238,261
当期純利益	325,337	419,871

売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)		当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費		50,702	37.1	55,216	36.0
II 経費	※	85,797	62.9	98,229	64.0
当期売上原価		136,500	100.0	153,445	100.0

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算であります。

(注) ※主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
減価償却費 (千円)	24,726	25,677
消耗品費 (千円)	17,817	20,035
賃借料 (千円)	18,458	21,895



## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	534,097	519,097	—	519,097	1,107,988	1,107,988	—	2,161,182	2,161,182
当期変動額									
新株の発行	44,372	44,372		44,372				88,745	88,745
当期純利益					325,337	325,337		325,337	325,337
自己株式の取得							△150,112	△150,112	△150,112
自己株式の処分								—	—
当期変動額合計	44,372	44,372	—	44,372	325,337	325,337	△150,112	263,970	263,970
当期末残高	578,469	563,469	—	563,469	1,433,326	1,433,326	△150,112	2,425,153	2,425,153

当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	578,469	563,469	—	563,469	1,433,326	1,433,326	△150,112	2,425,153	2,425,153
当期変動額									
新株の発行	554,527	554,527		554,527				1,109,055	1,109,055
当期純利益					419,871	419,871		419,871	419,871
自己株式の取得							△90,367	△90,367	△90,367
自己株式の処分			3,906	3,906			70,544	74,451	74,451
当期変動額合計	554,527	554,527	3,906	558,434	419,871	419,871	△19,822	1,513,010	1,513,010
当期末残高	1,132,997	1,117,997	3,906	1,121,904	1,853,197	1,853,197	△169,935	3,938,164	3,938,164

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	500,416	658,133
減価償却費	30,135	29,734
投資有価証券評価損益 (△は益)	29,549	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	39	575
受取利息	△110	△115
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,361	△22,136
前受金の増減額 (△は減少)	31,430	43,660
未払金の増減額 (△は減少)	△24,512	34,833
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,190	22,487
株式交付費	—	10,567
株式公開費用	—	18,634
その他	20,976	22,655
小計	579,752	819,030
利息の受取額	110	115
法人税等の支払額	△194,475	△197,516
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>385,387</b>	<b>621,629</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△29,550	—
有形固定資産の取得による支出	△40,798	△18,428
保険積立金の積立による支出	△4,636	△4,636
差入保証金の差入による支出	△17,037	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△92,022</b>	<b>△23,064</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	34,995	38,377
株式の発行による収入	—	1,060,111
自己株式の取得による支出	△150,112	△90,367
株式公開費用の支出	—	△18,634
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△115,117</b>	<b>989,486</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	178,247	1,588,051
現金及び現金同等物の期首残高	2,267,944	2,446,192
現金及び現金同等物の期末残高	2,446,192	4,034,243

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

前事業年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

当社は、データクラウド事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

当社は、データクラウド事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

b. 関連情報

前事業年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

当事業年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が10%に満たないため、主要な顧客ごとの情報の記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産額	328.25円	507.10円
1株当たり当期純利益金額	44.10円	55.20円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	42.11円	53.24円

(注) 1. 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産額」、「1株当たり当期純利益金額」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」を算定しております。

2. 「1株当たり当期純利益金額」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益金額(千円)	325,337	419,871
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	325,337	419,871
普通株式の期中平均株式数(株)	7,377,914	7,606,664
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	347,550	280,208
(うち新株予約権(株))	(347,550)	(280,208)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。